

役員所感

専務理事 植木 厚祐

人口減と東京一極集中の是正を目指す地方創生の理念を示した「まち・ひと・しごと創生法」と「改正地域再生法」が施行され1年が経過し、上越市においても上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会が中心となって地方版総合戦略の策定が行われました。国や市の戦略を画一的な政策にとどめることなく地域の現状を鑑み、これまでにない斬新な発想で地域一体となって自立自活に向けた、地方創生の道筋を打ち出していくことが重要です。

地方創生と上越地域のまちづくりに主眼を置いた理事長所信を各委員会が具現化できるよう、LOMの舵取り役としての責任を全うします。上越地域の現状を十分に捉え、自立自活に向けた地域再興の可能性を見据えて将来的な潜在的可能性を顕在化し、行政、他団体、一般市民との連携・協力を得ながら、民間の視点を活かした運動を展開する事で地方創生を実現化します。また、地方創生という漠然とした言葉を、我々の行動力で体現してみせる事がJAYCEEの責務であると考えます。会員減少により事業予算の緊縮が進む中でも思い切った運動が展開できるよう、長期的な地方創生ビジョンを打ち出した助成金の活用や、クラウドファンディングといった新たな資金調達方法を視野に入れ運動していきます。同時に、専務理事として重要な役割である、各種諸会議における建設的な意見交換の場となるような運営や、マイナンバー制度導入により厳格さが増し複雑化した財政・コンプライアンスの適正な審査、日本JCや北陸信越地区協議会、新潟ブロック協議会との対外窓口業務等、重責あるポジションである事を肝に銘じ全力でLOM運営に努めます。

既成概念に囚われない柔軟な発想で、失敗を恐れず我々の運動自体を社会実験の場と捉え果敢にチャレンジします。その結果、典型的な地方都市である上越市で全国に先駆けて地方創生を現実し、先進事例として日本全国に名を轟かせる事が出来ると確信しています。